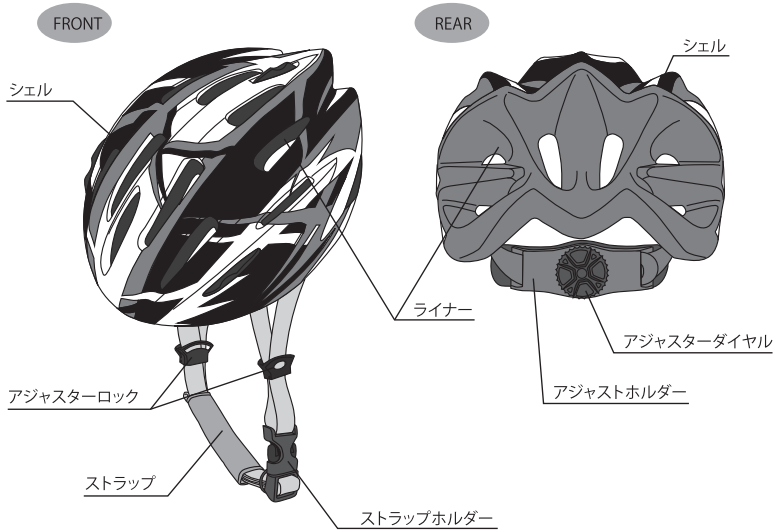
ご使用上の注意

この度は、当製品をお買い上げいただき誠に有難うございます。この取扱説明書は、お買い上げいただいたヘルメットの正しい取扱方法について説明しております。
ご使用になる前に必ず最後までお読みください。また、お読みになった後は、大切に保管して下さい。ヘルメットはいかなる事故にも絶対安全というわけではありません。万一の際に危険の度合いを減らす装備の一つであり、安全要素の一つにすぎません。安全快適なバイシクルライフを楽しむためにも、以下の注意項目を良くご理解いただきますようお願い申し上げます。

警告

- このヘルメットは「自転車専用」ですので、それ以外には絶対に使用しないで下さい。
- 決められた交通規則に必ず従ってください。

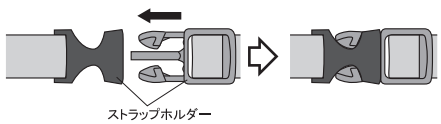
■ G-103 部 位 名 称 ■



1.ストラップホルダーの取扱方法

ストラップホルダーは、あなたの頭にしっかりとヘルメットを固定するための、重要な装置です。ストラップの両先端に付いている「ストラップホルダー」を確実に止めましょう。

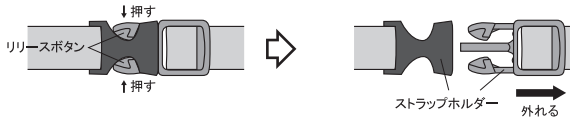
ストラップホルダーの留め方



警告
ストラップをとめるときは、お肌を挟まないようご注意ください。
顔などにケガをするおそれがあります。

ストラップホルダーの外し方

リリースボタンを押すと、ストラップホルダーが外れます。



警告

- ストラップは正しくしっかり締めてください。締めないままの走行は、万一転倒の際に大変危険ですので絶対におやめ下さい。
- ストラップホルダーは必ずホルダーの最後まで（カチッと音がするまで）きっちりと押し込んでください。押し込みが不完全ですと、万一転倒した際にストラップホルダーが外れてしまい大変危険です。

2.ストラップの調整

ストラップの長さは、あなたの頭にぴったりフィットするように必ず調整をしましょう。ストラップの長さは、ストラップホルダーを締めたとき指が2～3本入る程度が一般的です。実際にご使用いただく前に「ストラップ」の長さや「アジャスターロック」のロック位置を調整しあなたの頭にピッタリフィットするようにして下さい。

【ご注意】ストラップホルダーの受け側のストラップの長さ調整はできません。

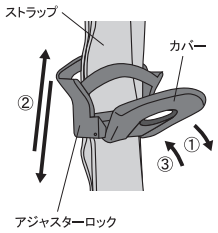
警告

- ストラップは間違えた通し方をすると、ストラップ自体が滑り、固定出来ずに抜けてしまい、ヘルメットが脱げてしまう恐れがありますので、正確に通してください。
- ストラップホルダー（差し込む側）の表裏を間違えると、ストラップが緩んで固定が出来なくなります。もし、ストラップホルダーを完全にストラップより取り外した場合は、取り付ける際にストラップホルダーの方向にご注意下さい。

3.アジャスターロックの調整

ストラップホルダーをとめ、しっかり顔の側面に合うように「アジャスターロック」の高さを調整します。ヘルメットを被りストラップの耳側後ろのベルトがスッキリ納まっているかを確認し、耳の部分が緩いまたはキツイ場合は、アジャスターロックを移動させて高さを調整します。

●アジャスターロックの移動方法



①アジャスターロックのカバーを矢印の方向に開きます。

②アジャスターロックを正しい高さに調整します。

③高さが決まったら、アジャスターロックのカバーを元の通りに閉じて完了です。

【ご注意】 アジャスターロックの調整後は、必ずしっかりロックをして下さい。ロックされていないまま使用すると、ストラップの位置が正しく保てない場合があります。

4.アジャスターダイヤルの調整

アジャスターダイヤルはヘルメットのズレやブレを押さえる為の装備です。あなたの頭にピッタリフィットさせ、しっかりホールド出来るようにアジャスターダイヤルを調整してください。

【ご注意】 長髪の方などはアジャスターロックに毛髪が引っかからないようにご注意の上、調整してください。

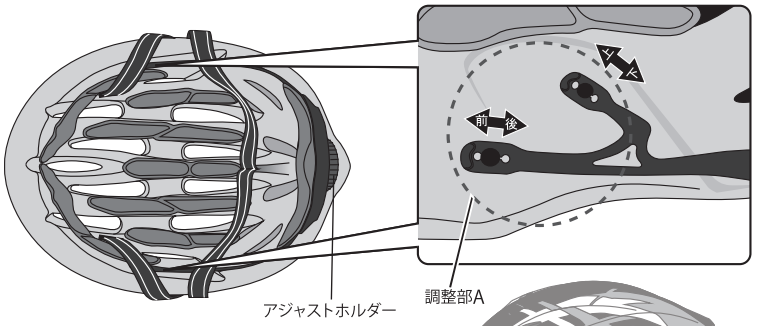
※参考イラスト

ヘルメット前部を押さえながら、アジャスターダイヤルを回して適度に締めます。

調整の仕方
・ダイヤルを右に回すと締まる
・ダイヤルを左に回すと緩む

はじめにアジャスターダイヤルを適度に緩めてからヘルメットを被り、ヘルメットの前部を押えながらアジャスターダイヤルを適度に締めてください

5.アジャストホルダーの調整



アジャストホルダーもヘルメットのズレやブレを押さえる為の装備です。あなたの頭にピッタリフィットさせ、しっかりホールド出来るように調整してください。

【ご注意】 アジャストホルダーは簡単にズレないようにできているため、調整部分が非常にきつくなっています。調整部Aの箇所を引く・押す・外してはめるなどして調整をして下さい。

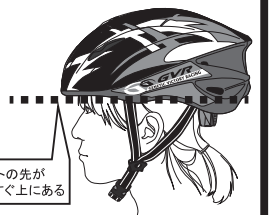
6.正しい位置でヘルメットを装着する

ヘルメットを前から後ろに掛けて水平になるように着用して下さい。このときにヘルメットの先端がまゆ毛のすぐ上にない場合は、正しく装着出来ていません。
（装着の際は鏡を見ながら調整してください）
また、あご紐の長さやアジャスターロックの調整もヘルメットを正しく被る上で大変重要な部分です。当説明書の該当項目を良くお読みの上正しく被ってください。

【ご注意】 ヘルメットは正しい位置で正しく被り、ストラップを正確に締める事で、初めてヘルメット本来の安全性能を発揮します。ヘルメットは走行前にしっかりと正しく装着しましょう。

【ヘルメットの正しいかぶり方】

○ 正しいかぶり方の例



前から後ろにかけて水平になるようにかぶります。

× 誤ったかぶり方の例

7.規格について

GVR G-103は、JCF(財)日本自転車競技連盟推奨ヘルメットです。
※JCF推奨ヘルメットについて：JCF推奨ヘルメットとは、サイクルスポーツ全般にわたる安全の普及の推進を企図し、サイクルスポーツの多用な面におけるヘルメット着用を推進するために設けられた制度です。
このマークが付けられたヘルメットは、JCF公認競技およびJCF加盟団体主催の競技での使用はできません。
また、世界で最も厳しいといわれるヨーロッパの統一安全基準「CE」をクリアしています。自転車の本場であるヨーロッパで十分な安全規格をクリアしております

2013.01　JCF推奨取得

⚠ 警告　＜下記の文章は必ずお読みください。＞

●「ストラップは必ずしっかり締めてください」

ストラップを締めなかったり、締め方がゆるいと、万一転倒した時などに脱げてしまい、頭を守ることが出来ず非常に危険です。また、ヘルメットの下に帽子・フード・バイザー・ヘッドフォン等を着用しないで下さい。ヘルメットがずれたり、落ちる恐れがあります。

●「大きな衝撃を受けたヘルメットは外観上に損傷がなくても、絶対に使用しないで下さい」

ヘルメットはシェル（帽体）及び衝撃吸収ライナーが潰れることで、衝撃エネルギーを吸収します。大きな衝撃を受けたヘルメットは、既にライナーが潰れていることが多く、そのまま使用すると、再度衝撃エネルギーを吸収できず非常に危険です。外観にキズがなくても使用しないで下さい。

●「ヘルメットの改造及び分解は絶対にしないで下さい」

ヘルメットに穴を開けたり、内部の衝撃吸収材を削ったり、ストラップなどは絶対に改造しないで下さい。ヘルメット本来の性能が発揮できなくなり非常に危険です。

●「お手入れは薄めた中性洗剤で拭き取るようにしてください」

ガソリン・シンナー・ベンジン・熱湯（50℃以上）や塩水等は絶対に使用しないで下さい。

●「ヘルメットのペイントは絶対にしないでください」

衝撃吸収ライナーは、塗料や熱の影響により、材質が侵されて衝撃吸収力が低下する場合がありますので、ペイントは絶対におやめください。

●「ヘルメットは大切に取り扱ってください」

ヘルメットは丈夫だからといって、床等に放り投げたり、上に座ったりしないで下さい。その度に衝撃を吸収するため、衝撃吸収力が低下します。万一のために大切に取り扱ってください。また、自転車乗車時での頭を保護する以外の目的には使用しないで下さい。

●「ヘルメットの保管について」

ヘルメットは直射日光の当たる場所・車の中・暖房機のそばなど、高温になると思われる場所に長時間放置しないで下さい。
ヘルメットに使われている材質等が変質して性能が低下します。

MEMO